



2020年8月7日

各位

会社名 ナカバヤシ株式会社
 代表者名 代表取締役
 社長執行役員 湯本 秀昭
 (コード: 7987、東証一部)
 問合せ先 常務執行役員
 管理統括本部長 作田 一成

2021年3月期業績予想及び配当予想に関するお知らせ

2020年5月22日に公表した「2020年3月期決算短信」において、未定としておりました2021年3月期連結業績予想及び配当予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想

(1) 2021年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	29,500	800	1,000	500	19.39
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	30,854	681	903	459	17.86

(2) 2021年3月期通期連結業績予想数値(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	64,000	2,550	2,900	1,650	63.98
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	65,309	2,346	2,736	1,561	60.65

(3) 連結業績予想の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、緊急事態宣言解除後、経済活動が徐々に再開していることから、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき、連結業績予想を算定いたしましたので公表いたします。

学校教育などの再開によりステーションナリー関連製品の需要は改善されてきており、官公庁や企業におけるアウトソーシング業務のニーズも増加することが予想されますが、在宅勤務が定着し多様な働き方が進展することに伴いオフィス家具、シュレッドなどのオフィス用品の需要は減少しており、またデジタル化の進展により図書製本や手帳などの需要もさらに減少することが予想されますので、売上高は前期比減少する見込です。一方、製造部門の採算性の向上、環境関連製品、災害復興関連製品などの付加価値の高い製品の開発などによる原価率の低下や経費の削減により利益は前期実績を上回る見込です。

2. 配当予想

(1) 2021年3月期配当予想

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	—	—	—
今回発表予想	10.00	12.00	22.00
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	10.00	12.00	22.00

(2) 配当予想の理由

当社は、一層の収益の向上を図るために安定的な配当の維持、並びに、経営基盤の強化と今後の事業展開を勘案した上で内部留保を充実させ、この両者をバランスよく回転させることを基本方針としております。連結配当性向につきましては30%~40%を目標としております。2021年3月期の配当予想につきましては、連結業績予想と同様に未定としておりましたが、上記方針及び連結業績予想に基づき、年間配当金は1株当たり22円(中間配当金10円、期末配当金12円)を予想しております。

※上記予想数値につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上